

令和6年度

私費外国人留学生選抜 学生募集要項



(フランス式庭園)

豊かな発想を地域に，新たな知を世界へ

宇都宮大学

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

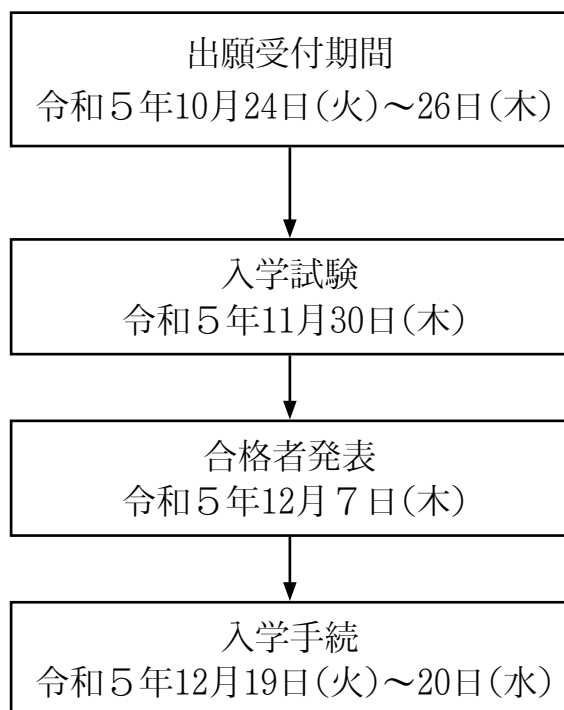
宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、29 ページをご覧ください。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけの配慮を致します。

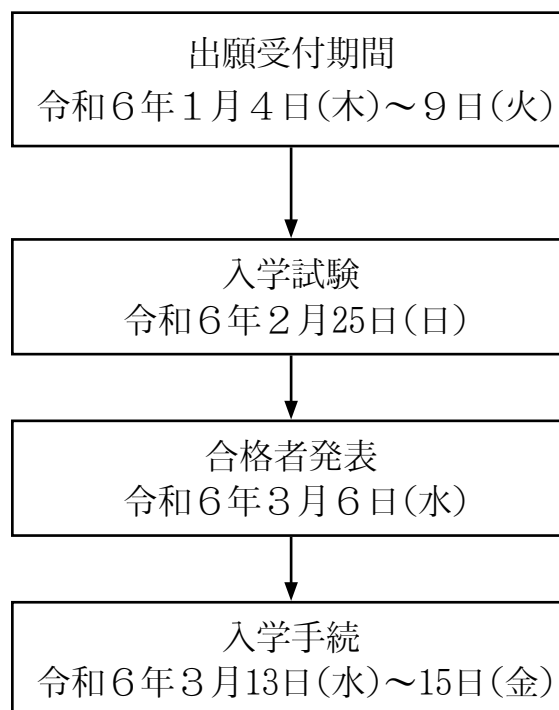
困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

【私費外国人留学生選抜主要日程】

国際学部・共同教育学部・農学部



地域デザイン科学部・工学部



～個人情報取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針, 教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	24
4	出願資格	25
5	出願上の留意事項	26
6	出願手続	26
(1)	出願期間	26
(2)	出願方法	26
(3)	出願書類等及び記入要領等	26
(4)	入学検定料免除について	29
(5)	出願先	30
(6)	受験票の送付	30
7	疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	30
8	選抜の方法及び検査科目・日程等	31
(1)	選抜の方法	31
(2)	検査科目等	31
(3)	検査日及び検査場等	32
(4)	検査スケジュール	33
	共同教育学部実技検査の内容	34
9	受験上の注意事項	34
(1)	検査当日の注意事項	34
(2)	不正行為	34
10	入試過去問題の使用について	35
11	合格者発表	36
12	入学手続	36
(1)	手続期間	36
(2)	入学手続方法	36
(3)	入学手続時に必要な納付金等	36
(4)	入学後に必要な諸経費	36
(5)	マイナンバーカードの使用について	36
13	その他	37
14	令和5年度私費外国人留学生選抜入学者選抜状況	37
15	検査場案内図	38

1 宇都宮大学の理念と方針，教育目標

★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

★教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力。変化に対応し、自らを変えようとする力

【協働力】チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力。多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力。課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取り組む力

2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。</p>	<p>地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。自らの考えを分かりやすく伝えることを心がけ、他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験することを期待します。当学科の入学試験の内容は、まちづくりやコミュニティデザインのために行動を起こす人の成長のきっかけとなることを目指しています。当学科に入学しても、しなくても、まちづくりのプレイヤーとしての志を有する人は地域社会の宝であり、当学科では、受験したすべての方々に、その志の実現に資する、成長の機会を提供いたします。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人
- ③ 学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人
- ④ 地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑥ 地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかで受験させ広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を元に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。 出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかで受験させ広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では面接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。また、第2次選考として面接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。 各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生 選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、面接)の結果を総合して選抜を行います。 小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、面接では、コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	
		小論文	☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		面接	☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	大学入学共通テスト(注1)	☆☆☆		☆☆	☆		
	グループディスカッション・面接	☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
	活動経験等を踏まえた進学後の学習について	☆		☆☆☆		☆☆	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆		☆☆	☆		
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆	☆		
	面接			☆☆		☆☆☆	
	小論文			☆☆☆		☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

建築都市デザイン学科は、従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が自動的に得られるカリキュラムになっており、卒業には「学士(工学)」の学位が授与されます。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。</p>	<p>建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。</p> <p>建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追求する態度を有している必要があります。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

当学科での学修には、様々な科目についてのバランスよい基礎力と、学修を継続する習慣が必要です。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的技能や、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
- ③ 安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ④ 建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
- ⑥ 歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。出願書類(調査書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。出願書類(調査書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
総合型選抜	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。出願書類(調査書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学および理科の基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。出願書類(成績証明書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆		
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接	☆	☆☆			☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
	造形実技	☆☆		☆☆☆			
	出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆				☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士(工学)」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。</p>	<p>地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身につけるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、社会基盤や都市機能をデザインする人の成長のきっかけとなることを目指しています。当学科では、まちづくりのプレイヤーとして、社会の発展に貢献したいと願う方々に、成長の機会を提供いたします。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
- ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
- ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身につけている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。出願書類(調査書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、面接により、まちづくり及び社会基盤(インフラ)に関するあなたの考えを問います。出願書類(調査書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
総合型選抜	プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
		面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
	面接	☆☆				☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

国際学部 国際学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複数言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的に行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>国際学科では、多文化共生の視点を持ち、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指して、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）（1年次）、多文化共生基礎科目（1～2年次）からグローバル実践力基礎科目（2年次）、専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前期）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。</p>	<p>多文化共生に関して、専門教育の基礎となる主要な知識と論点を理解する能力、学術的かつ実用的な英語運用能力および英語以外の外国語を学修し、多様な地域や文化を現地語で理解しコミュニケーションを行うための基礎力、多文化共生をめぐる諸問題を多様な地域に関連づけて理解するとともに、グローバルな視点からその問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析し、論理的にまとめる能力（文章化や口頭発表など）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国語の運用能力が必要です。また、国際的な社会文化事象に幅広い知識と関心を持ち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持っていることが重要です。

上記のことに加え、学習活動や取り組みなどを通して、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人
- ② 多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性をもっている人
- ③ 国際的な問題を説得的に論じることのできる能力や外国の学校での勉学経験から得られた国際的な高い問題意識、社会人経験から得られた深い問題意識、外国人として4年間勉学を続けようとする強い意志などをもっている人
- ④ 多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人
- ⑤ 多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人
- ⑥ 世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜します。大学入学共通テストでは、広く基本的な知識を得ているかを調べるとともに、個別学力検査等で、国際的な社会的文化的事象について論じる小論文と、一定の運用能力をはかる英語試験を課し、論理的な作文能力があるか、外国語運用能力の基礎があるかをはかります。出願書類(調査書)では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
学校推薦型選抜I	出願書類と面接を総合して選抜します。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、自分の考えを自分の言葉で語ることのできる表現力をみることに主眼をおきます。
帰国生選抜	出願書類、小論文、英語外部試験、及び面接を総合して選抜します。小論文は与えられた課題文の趣旨を的確に理解する能力と、自分の知識を活かして独自の考えをまとめる能力が求められます。面接は本学科で学ぶための適性と学修意欲をみることに主眼をおきます。
社会人選抜	出願書類、小論文、英語外部試験、及び面接を総合して選抜します。総合的な問題把握能力、国際社会や異なる文化を理解するための一般的な知識、総合的な思考力、構成・表現力を評価するための小論文、さらに国際的な社会的文化的事象に対する関心、学修意欲、知識、問題把握能力を評価するために面接を課し、本学科で学ぶための基礎があるかをはかります。
外国人生徒選抜	出願書類と小論文、英語外部試験、及び面接を総合して選抜します。小論文は与えられた課題文の趣旨を的確に理解する能力と記述力をみます。面接は本学科で学ぶための適性と学修意欲をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験、学力検査等を総合して選抜します。日本留学試験では大学で学ぶための基礎学力を重視し、「日本語」[総合科目]「数学(コース1)」を評価対象とします。学力検査等では「事前提出の小論文」、「オンラインによる口頭試問および面接」を行い、基礎学力をはかるとともに、本学科で学ぶ目的および適性をみることに主眼をおきます。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆			
	個別学力検査	☆☆☆	☆☆		☆		
	小論文	☆☆☆	☆☆				
	出願書類(調査書)				○		
学校推薦型選抜I	面接	☆			☆☆☆		
	英語外部試験	○					
	出願書類(自己推薦書等)				☆☆☆		
	英語外部試験	☆☆☆			☆		
帰国生選抜	面接	☆			☆☆☆		
	小論文	☆☆		☆☆☆	☆		☆
	出願書類(成績証明書等)				○		
	英語外部試験	☆☆☆			☆		
社会人選抜	面接	☆			☆☆☆		
	小論文	☆☆		☆☆☆	☆		☆
	出願書類(志望理由書等)				☆☆☆		
	英語外部試験	☆☆☆			☆		
外国人生徒選抜	面接	☆			☆☆☆		
	小論文	☆☆		☆☆	☆		☆
	出願書類(志望理由書等)				☆☆☆		
	英語外部試験	☆☆☆			☆		
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	☆☆☆			☆		
	面接	☆			☆☆☆		
	小論文	☆☆☆		☆☆	☆		☆
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本学部は4系13分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうちの一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2年次、3年次には両大学の学生による対面授業も行われます。小・中・高等学校及び特別支援学校、幼稚園の教員免許を取得するためのプログラムを備えています。卒業単位を修得することで、小学校1種、及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校1種の教員免許を取得できることを特徴としています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、また、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教職実践科目を備えています。</p>	<p>教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部のすべての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教職実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|-------------------|--|
| 入学時に必要な
能力や適性等 | ① 高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人 |
| | ② 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人 |
| | ③ ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人 |
| | ④ 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人 |
| | ⑤ 様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人 |
| | ⑥ 教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人 |

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の3つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接ではすべての系に共通して教職への関心や適性を問います。
学校推薦型選抜Ⅰ (一般推薦(A))	各学校種・教科の教育内容や指導法を学ぶにふさわしい資質・能力を持つ人を選抜します。出願書類と合わせて、分野ごとに異なる試験を行います。すべての分野に共通して面接を課します。面接ではすべての分野に共通して教職への意欲や適性を問います。
学校推薦型選抜Ⅰ (一般推薦(B))	将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います(※1)。出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。基礎的な学力と思考力、コミュニケーション力を持ち、本学部が備える教員養成のカリキュラムに意欲的に取り組むことができる人を選抜します。出願書類、日本留学試験と合わせて、分野によって異なる試験を行います。すべての分野に共通して面接を課します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆				
		面接			☆☆	☆☆	☆☆☆
		小論文※2	☆☆	☆☆	☆☆☆		
		実技検査※2	☆☆☆				
		出願書類(調査書)				○	
	出願書類(スポーツ活動調査書)※3	☆☆					
学校推薦型選抜	Ⅰ(A)	面接※4	☆☆	☆☆		☆☆	☆☆☆
		小論文※4	☆☆	☆☆	☆☆☆		
		実技検査等※4	☆☆☆				
		出願書類(調査書)				○	
		出願書類(推薦書)				○	
		出願書類(活動調査書)※5	☆☆☆				☆
	Ⅰ(B)	面接		☆☆		☆☆☆	☆
小論文		☆☆	☆☆	☆☆☆			
出願書類(調査書)					○		
	出願書類(推薦書)				○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験※4	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆					
	面接※4	☆☆☆	☆☆☆		☆☆☆	☆	☆☆
	小論文※4	☆☆	☆☆	☆			
	実技検査等※4	☆☆☆					
	出願書類(成績証明書等)				○		

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。
 ※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。
 ※3 保健体育分野の選抜で課されます。
 ※4 学校推薦型選抜Ⅰ(A)、私費外国人留学生選抜では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。
 ※5 理科分野及び保健体育分野の選抜で課されます。
 (i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

基盤工学科では、先ず学科の共通教育により工学技術者・研究者として備えるべき教養と工学全般にわたる基礎知識を身につけた上で、各自の志望分野を選びます。2年次から、応用化学コース、機械システム工学コース、情報電子オプティクスコースに分かれ、各々の専門知識を蓄え、関連技術を修得します。その集大成として、「卒業研究」などの主体的な研究活動を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士(工学)」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心/身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により広い工学的視座を養うと共に、各専門分野の最新動向に触れ、コース選択の準備をします。</p> <p>2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、プロジェクト科目や卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。</p>	<p>社会で活躍できる技術者を目指して、本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に理数系科目に関する基礎学力を身につけた上で、“工学”に対する強い興味と、将来工学技術者として社会に貢献したいとする熱意を持つことが必要です。応用化学コースの志望者は“化学”、機械システム工学コース・情報電子オプティクスコース志望者は、数学及び物理に対する興味・関心が求められます。さらに、技術者・研究者として活躍するためには、物事を科学的・論理的に思考し判断しようとする姿勢と、その経過や結果を他者に適切に伝えるコミュニケーション能力が必要となります。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識を学習し、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ② 「工学の専門分野*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ③ 科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 「工学の専門分野*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人
- ⑤ 主体性をもちつつ、さまざまな人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人

「工学の専門分野*」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指しますが、一般選抜（前期日程）および学校推薦型選抜Ⅰの化学系、総合型選抜の志願者に関しては、特に化学に関連する分野を指すものとします。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等（数学・理科・英語）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜 (後期日程)	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等（小論文）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等（小論文）により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜	「化学系」の入試区分で募集します。出願書類審査、プレゼンテーション、プレゼンテーションに対する試問、および面接を総合して選抜を行います。出願書類審査では主に自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容を審査します。プレゼンテーションにおいて理科全般あるいは化学に関して取り組んだ課題についての発表を行い、試問にてプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を行います。また、質疑応答には化学の基礎知識に関する確認も含まれます。面接では、入学後の抱負や勉学に対する意欲などについて尋ねます。以上の内容について総合的に評価します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。調査書および基礎能力試験（数学・理科・英語）と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。 この外、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生 選抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査（数学・理科）の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、「工学の専門分野」を学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等
一般 前期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
	個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
	出願書類（調査書）			○		
選 抜 後 期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
	小論文			☆☆☆	☆☆	
	出願書類（調査書）			○		
総合 型 選 抜	プレゼンテーション・面接		☆☆		☆☆☆	☆☆☆
	出願書類（調査書）			○		
	出願書類（自己推薦書）		☆☆		☆☆☆	☆☆
選 学 校 推 薦 選 抜 型	基礎能力試験	☆☆☆	☆	☆		
	面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類（推薦書）			○		
	出願書類（調査書）		☆☆		☆	☆☆
私費外国人 留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆		☆☆	
	日本留学試験	☆☆☆	☆	☆☆	☆	
	学力検査		☆☆☆	☆☆	☆	
	面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類（成績証明書等）			○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物資源科学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象にして生物資源の持続的生産における過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めることができるアクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、それらの関連分野において地域はもとより国際的に活躍できる行動的知性を備えた人材を養成しています。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>1年次には、農学体系の全体像や人々の暮らしと農業との関わりを理解するため、農業と環境の科学、農学部コア実習、生物資源の科学を学びます。また、基礎科目として生物や化学、生産学などを学びます。2年次から3年次前期には、専門教育科目として、生物資源・生産環境・生物機能・生物生産技術に関連する科目を学びます。3年次後期から4年次にかけては、生物資源科学を総合的・多面的に理解して、地域や地球がかかえる諸問題を解決するための技術と研究の情報に触れ（ゼミ、特別演習など）、一連の研究活動の実験を経験する（卒業論文）中で、生物資源科学に関する専門職業人となるための能力を身につけます。</p>	<p>生物資源の専門分野への関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。生物資源とそれを取り巻く環境について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では動植物や昆虫などの多様な生物資源の働きやその利用について、生命科学の視点から理解を深めることができる教育プログラムを提供し、それらの関連分野において地域はもとより国際的に活躍できる人材養成を目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 生物資源科学の基礎となる数理科目等についての基礎的な知識を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている。
- ④ 生物資源科学における諸課題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている。
- ⑥ 将来、農業やその他の産業に従事し、それぞれの分野の指導的立場をめざす意欲を持っている。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では理科(生物または化学)または数学についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
学校推薦型選抜Ⅰ	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類(調査書)				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接				☆☆	☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
学校推薦型選抜Ⅰ	面接	☆☆			☆☆	☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆		☆☆☆		
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆	☆☆			
	面接	☆☆			☆☆	☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 応用生命化学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生命の営みを支える物質を明らかにすることや、その代謝などによる構造や機能の変化を解明すること、すなわち、さまざまな事象を“物質の流れ”という観点から解明することを通じて、真に豊かな暮らしを支える科学技術の発展を図るための基本的・応用的な教育研究をおこないます。生命・食品・環境の分野の諸問題の解決に取り組むための知識・技能と行動的知性を備え持つ人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>生化学、食品化学、微生物学、分子生物学、有機化学、および化学実験の科目から構成されており、以下の要素を修得します。(1) さまざまな事象を“物質の流れ”として把握できる力、すなわち、「化学」をツールとして使いこなす力を養成します。基礎有機化学、基礎無機化学および演習科目などにより基礎的な化学を、食品化学、高分子材料化学、生物有機化学などにより発展的・応用的な化学を修得します。(2) 科学技術の実践的「応用力」を学修するため、基礎化学実験、応用生命化学実験などの科目を修得します。(3) 「生命」について広い視座で修得するために、基礎生命科学、分子生理学、分子生命科学、微生物学、生物化学などに加え、食と細胞の科学、化学と生命など、人々の暮らしに関する問題意識や、哲学・倫理的な考え方なども必要とする科目を修得します。</p>	<p>本学科における学びを進めるためには、応用生命化学の専門分野への幅広い関心や、持続可能な社会の創造に貢献したいという意欲が必要となります。生命・食品・環境の分野の諸問題の解決に取り組む力を身に付けるためには、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに取り組む力を身に付けるためには、学んだ知識を組み合わせ道筋をたてて様々な面から考察しようとする姿勢が求められます。さらに、これらの学びを深めていくために、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校等では、様々な教科・科目の学習に積極的に取り組み、基礎的学力をバランスよく身に付けてください。また、探究学習等においては、異なる分野(科目等)の知識を組み合わせることも、一緒に取り組んでいる仲間の意見にも耳を傾けてみることを心がけ、好奇心を持って取り組んでください。高等学校等における学びやクラブ活動等の場においては、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、考え方には多様性があることを感じ取るよう努めてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 応用生命化学の基礎となる化学や数理科目等についての基礎的な知識を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている。
- ④ ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、簡潔に分かりやすく表現できる。
- ⑤ 真に豊かな暮らしを支える科学技術を発展させたいという意欲を持っている。
- ⑥ 科学に対する熱意、主体的な姿勢、コミュニケーション能力を持っている。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では、入学後の学びの基本ツールとなる化学についての知識や思考力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では、面接により諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要とされる、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
学校推薦型選抜I	面接および小論文の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生 選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類(調査書)				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
学校推薦型選抜I	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)				○		
私費外国人 留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 農業環境工学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

農村環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産の確保、再生可能エネルギーやバイオマス資源の利用に関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍でき、行動的知性を兼ね備えた技術者を育成することを目指しています。2年生後期から、①水土環境工学コース、②食料生産システム工学コースのいずれかに分属し、それぞれの専門領域について学修します。この2コースではそれぞれ、①地域資源・地域環境の適切な利用と管理、田園空間の総合的デザインに携わる専門技術者、②圃場機械や栽培・流通施設、廃棄物・バイオマス管理など、食料生産環境システムの機構とその設計、制御に携わる専門技術者の育成が図られます。なお、本プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的な好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>①水土環境工学コース、②食料生産システム工学コースの2コースがあり、学生の履修すべき専門科目は学科共通必修科目、コース別必修科目、コース別選択科目に分類されます。「農学の役割について理解し、認識を深める」ことは主として基盤教育で培われ、「自然環境の理解と技術者としての責任感」、「田園空間環境創出のための工学的手法」、「課題解決能力や論理的思考力」等を習得するために必要な科目群を学科共通必修、「データ解析力」の習得に必要な科目群をコース別必修として配置しています。コース分属が2年生後期開始時であるため、学科共通必修科目は1年生から2年生前期に開講されます。</p>	<p>環境と調和した農業システムへの関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農村環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産の確保、再生可能エネルギーやバイオマス資源の利用などについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な理数系を中心とした教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して田園空間環境を創出するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産、再生可能エネルギーなどに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 農業環境工学の基礎となる数理科目等についての基礎的な知識と学力を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取る力、論理的な思考力、判断力を備えている。
- ④ 広く社会や環境に関わる問題意識をもち、諸課題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている。
- ⑥ 環境と調和した農業システムや田園空間の創出に関心および情熱を備えている。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では数学または外国語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜	プレゼンテーション、グループディスカッション、面接の結果及び「活動経験についての報告書」、「進学後の自己設計書」を総合して選抜を行います。関心や展望、表現力、主体的な姿勢およびコミュニケーション能力を総合的に評価します。
学校推薦型選抜I	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生 選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類(調査書)				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接				☆☆	☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
総合型選抜	プレゼンテーション				☆	☆☆☆	
		グループディスカッション			☆☆☆	☆☆	
	面接		☆☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
	出願書類(進学後の自己設計書)					☆☆☆	
	出願書類(活動経験についての報告書)						☆☆☆
学校推薦型選抜I	面接		☆☆		☆☆		☆☆☆
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆		☆☆☆
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆	☆☆			
	面接	☆☆			☆☆		☆☆☆
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 農業経済学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本プログラムは、農学部で唯一の文系学科として、国内外の食料・農業・農村について、社会科学の視点から教育・研究・地域貢献を行っています。食料・農業・農村にかかわる生産、加工、流通、消費、貿易を対象に、行政や農業関連団体、金融や食料関連産業の分析を含めて総合的に学修します。21世紀の世界が直面する諸問題の解決に寄与できるよう、広い視野から実社会に貢献できる行動的知性を備えた人材を養成する目的でカリキュラムを編成しており、「自らの意思で学び、自ら思考する」能力の開発を目指しています。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以下のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>講義系科目として①社会科学の基礎理論、②専門基礎科目、③専門関連科目、④他学科・他学部の関連基礎科目を段階的・総合的に編成しています。トレーニング系科目として⑤計量分析や財務経営分析の知識、⑥少人数ゼミナール形式の演習を重視するとともに、実習系学修として⑦農業や関連業界の実態を知るための実習や現地調査を配置しています。少人数ゼミナール教育、フィールド体験型調査実習、情報収集・分析トレーニング等を重視し、現場重視の教育体系を取っています。こうして身につけた能力を4年次の卒業論文で集大成させており、「自らの意思で学び、自ら思考する」能力の開発を目指し、幅広く深い教養を持った、実社会に貢献できる人材を養成する目的でカリキュラムを編成しています。</p>	<p>国内外の経済社会と食料・農業・農村への関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食料・農業・農村にかかわる生産、加工、流通、消費、貿易などについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では国内外の食料・農業・農村について、社会科学の視点から理解を深めることができる教育プログラムを提供し、それらの関連分野において地域はもとより国際的に活躍できる人材養成を目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせ、道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 農業経済学の基礎となる社会系科目についての基礎的な知識を備えている。
- ③ 様々なデータを読み取り、論理的に思考し、判断する力を備えている。
- ④ 農業経済学における諸課題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす態度を備えている。
- ⑥ 現実の社会の中から学ぶ意欲と、コミュニケーション能力をもっている。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」または「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では外国語または数学についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」または「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
学校推薦型選抜I	出願書類、面接、小論文を総合して評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、食料・農業・農村への関心、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。小論文では、社会科学に関する基礎的な思考力及び表現力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類(調査書)				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接				☆☆	☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
学校推薦型選抜I	面接	☆☆			☆☆	☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆		☆☆☆		
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	小論文	☆☆			☆☆☆		
	面接	☆☆			☆☆	☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 森林科学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本プログラムの特色は、森林の育成・管理から生産物の加工利用までの一連の流れを基軸とし、森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に学修する点にあります。本学科の授業科目は、自然科学系から社会科学系までの幅広い分野から構成されていますが、特に演習林を主体とした実践的野外実習による行動的知性の涵養が重視されており、森林に関わる専門分野の基礎から応用にいたる科目と、実習科目を有機的に合わせたカリキュラムとなっています。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>授業の科目群を1)基軸科目（導入、総合）、2)専門基礎科目群および3)専門科目群（育林学、森林社会科学、森林工学、林産学の4教育分野）の3つに区分しています。基軸科目（導入）は以後の学修をして行く上で不可欠な科目群であり、専門基礎科目は、各教育分野の専門科目を理解するのに必要となる科目群です。また、専門科目は、学生が必ず修得すべき学修領域が必修科目として設定されており、さらに専門選択科目を学修することによって森林、林業、林産業に対する専門知識を深めていきます。基軸科目（総合）は、森林科学の思想と技術を学修・修得した後、さらに総合的なテーマに協力して取り組むことなどを通じ、専門家としての資質を高めるために設定された科目群です。</p>	<p>森林科学の専門分野への関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して学修するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では森林を取り巻く諸問題の解決に取り組むため、森林の育成・管理から生産物の加工利用までの理解を深めることができる教育プログラムを提供し、知識・技能と行動的知性を備え持つ人材（フォレスター）の養成を目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。
- ② 森林科学の基礎となる数理系と社会系科目等についての基礎学力を有している。
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている。
- ④ 森林科学における諸課題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。
- ⑤ 主体性があり、森林・林業分野への熱意を持ち、行動を起こす意欲とコミュニケーション能力を備えている。
- ⑥ 森林・林業分野への熱意と、将来には指導的立場をめざす意欲を持っている。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 〔前期日程〕	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では理科（生物、化学または物理）または数学についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類（調査書）を使用します。
学校推薦型選抜Ⅰ	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テストの結果および面接、並びに出願書類を総合して選抜を行います。共通テストでは「理系型」で受験させ、基礎学力と達成度をはかります。面接では本学科で学ぶ意欲や適性、表現力やコミュニケーション能力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類（調査書等）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。小論文では、森林・林産業について学ぼうとする熱意、論理的思考能力、記述表現能力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆				
	個別学力検査	☆☆☆		☆☆		☆		
	出願書類（調査書）			○				
選学校推薦型	Ⅰ	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類（推薦書）			○			
	出願書類（調査書）			○				
	Ⅱ	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接					☆☆☆	
出願書類（推薦書）				○				
出願書類（調査書）			○					
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆						
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆				
	小論文			☆☆☆			☆☆	
	面接	☆☆		☆☆			☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）			○				

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3 募集人員

学 部	学 科 ・ 分 野 等		募 集 人 員	
地 域 デ ザ イ ン 科 学 部	コ ミ ュ ニ テ ィ デ ザ イ ン 学 科		各 学 科 若 干 名	
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科			
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科			
国 際 学 部	国 際 学 科		5 名	
共 同 教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	教 育 人 間 科 学 系	教 育 分 野	各 分 野 若 干 名
			教 育 心 理 分 野	
			特 別 支 援 教 育 分 野	
		人 文 社 会 系	国 語 分 野	
			社 会 分 野	
			英 語 分 野	
		自 然 科 学 系	数 学 分 野	
			理 科 分 野	
			技 術 分 野	
		芸 術 ・ 生 活 ・ 健 康 系	音 楽 分 野	
			美 術 分 野	
			保 健 体 育 分 野	
			家 政 分 野	
工 学 部	基 盤 工 学 科		若 干 名	
農 学 部	生 物 資 源 科 学 科		各 学 科 若 干 名	
	応 用 生 命 化 学 科			
	農 業 環 境 工 学 科			
	農 業 経 済 学 科			
	森 林 科 学 科			

(注) 共同教育学部においては、卒業要件として教育実習があることに留意してください。

4 出願資格

次のⅠに掲げる要件の全てを満たし、Ⅱに掲げる要件のいずれかを満たす者としてします。

Ⅰ	<p>(1) 日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法により、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は入学に際し当該資格を有する見込みのある者</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構が2022年(令和4年)第1回試験(6月)以降に実施する「日本留学試験」のうち、本学が指定している試験科目を受験している者(下記の表を参照のこと)</p> <p>(3) 出願する学部・学科・分野によってはTOEFL iBTを受験することを必要とします。(該当する学部・学科・分野は下記の表を参照のこと)</p> <p>国際学部へ出願する者は、TOEFL iBT, TOEIC, IELTS, GTEC (CBTタイプ), TEAP (4技能)のいずれかを受験することを必要とします。</p>
Ⅱ	<p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了及び令和6年3月31日までに修了見込みの者並びにこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(ただし、文部科学省告示「外国において学校教育における12年の課程を修了した者に準ずる者を指定する件」の第4号、第5号を除く)</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する「国際バカロレア資格」を有する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められている「アビトゥア資格」を有する者</p> <p>(4) フランス共和国において、大学入学資格として認められている「バカロレア資格」を有する者</p>

(表) TOEFL, TOEIC, IELTS, GTEC, TEAP 及び日本留学試験の指定一覧

○は指定する試験科目

学部	学科・分野等	TOEFL iBT iBT Home Edition	TOEIC	IELTS	GTEC (CBT タイプ)	TEAP (4技能)	日本留学試験						出題 言語		
							日本語	総合 科目	数 学	理 科				科目選 択	
										物理	化学	生物			
地域 デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科	○					○	○	自由選択					日本語	
	建築都市デザイン学科	○					○		コース2	○			他1科目自由選択	日本語	
	社会基盤デザイン学科	○					○		コース2	○			他1科目自由選択	日本語	
国際学部	国際学 科		○ (いずれか1点)				○	○	コース1					自由選択	
共同教育学 部	教育人間 科学系	教育分野					○	○	自由選択					日本語	
		教育心理分野					○	○	自由選択					日本語	
		特別支援教育分野					○	○	自由選択					日本語	
	学校教育 人社会系	国語分野	○					○	○	自由選択					日本語
		社会分野						○	○						日本語
		英語分野	○					○	○						日本語
	教員養成 自然科学系	数学分野	○					○		コース2					日本語
		理科分野						○		コース2				2科目自由選択	日本語
		技術分野	○					○		コース2	○			他1科目自由選択	日本語
		音楽分野						○	○	自由選択					日本語
	芸術・ 生活・ 健康系	美術分野						○	○						日本語
		保健体育分野						○	○	自由選択					日本語
家政分野							○							日本語	
工学部	基盤工 学科	○						コース2				2科目自由選択	日本語		
農学部	生物資源科学科	○					○		自由選択				2科目自由選択	日本語	
	応用生命化学科	○					○		自由選択		○		他1科目自由選択	日本語	
	農業環境工学科	○					○		コース2	○			他1科目自由選択	日本語	
	農業経済学科						○	○	自由選択					日本語	
	森林科学科	○					○		自由選択				2科目自由選択	日本語	

5 出願上の留意事項

日本留学試験において、本学が指定する試験科目、コース、出題言語を受験していない場合は、出願資格がなく受験を認められないので、十分確認の上、出願してください。

6 出願手続

(1) 出願期間

国際学部・共同教育学部・農学部：

令和5年10月24日(火)から26日(木)まで〔ただし、26日は17時までに必着とします。〕

地域デザイン科学部・工学部：

令和6年1月4日(木)から9日(火)まで〔ただし、9日は17時までに必着とします。〕

(注) 出願期間後に到着したものは、受理しないので注意してください。

(2) 出願方法

原則として、日本国内からの郵送とします。(志願者本人が日本在住でない場合は、日本在住の代理人からの郵送とします。)

下記(3)に示す書類等を取りまとめ、本要項に添付されている私費外国人留学生選抜出願のための書類送付用の封筒を使用して、その封筒裏面で書類に漏れないことを出願者チェック欄にチェックを入れて確認し、必ず「書留・速達」で送付してください。

(留意事項)

郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。なお、期間内に到着しないおそれがある場合は持参してください。

(3) 出願書類等及び記入要領等

出願書類等の記入は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

(出願書類の※印の欄は記入しないでください。)

出願書類等	記入要領等		
入学志願票	① 氏名等	氏名、フリガナ、生年月日を記入し、性別は該当するものを○で囲むこと。	
	アルファベット	「日本留学試験受験票」に記載されているものと同じアルファベットを記入すること。	
	② 国籍	国籍を記入すること。	
	③ 出願学部・学科・分野等	地域デザイン科学部	出願する学科名を記入すること。
		国際学部	出願する学科名を記入すること。
		共同教育学部	出願する系・分野を記入すること。
			声楽 選択曲番号
	工学部	出願する学科名を記入すること。	
理科の 選択科目		「物理」又は「化学」のいずれかを選び、○で囲むこと。	
農学部	農学部	出願する学科名を記入すること。	

出願書類等	記入要領等		
入学志願票	④ 最終学歴	学校名	国立・公立・私立のいずれかを○で囲み、学校の名称を記入すること。
	* 出願資格Ⅱの(1)に該当する者は、「学校教育における12年の課程」での最終学歴を指す。	所在地	学校の所在地を記入すること。
		修了年月	修了又は修了見込みの年月を記入すること。また、修了又は修了見込みのいずれかを○で囲むこと。
		課程・科	該当するものを○で囲むこと。該当するものがない場合は、()内に記入すること。
	⑤ 資格試験	国際バカロレア資格、アビトゥア資格及びバカロレア資格等を有し、大学入学のための資格を取得している者は、その資格取得年月及び資格試験の名称を記入すること。	
	⑥ 住所	本国での住所及び日本国での現住所を記入すること。なお、志願者本人が日本国外に在住している場合は、日本国内在住の代理人を指定し、「日本国での住所」欄に代理人の住所・氏名・電話番号(携帯電話も含む)及び志願者との続柄を記入すること。	
	⑦ 学歴	初等教育(小学校)から最終学歴まで年代順に詳しく記入すること。	
⑧ 日本語の学習歴	教育機関で学習した学歴がある場合に記入すること。		
⑨ その他	履歴に関し、上記にあてはまらない事項がある場合に記入すること。		
写真票	所定の欄に氏名、フリガナ、出願学部、出願学科等を記入すること。また、所定の欄に出願前3か月以内に撮影した脱帽正面上半身の写真(縦4cm×横3cm)を貼付すること。		
受験票	同上。		
修了証明書及び成績証明書等 右の記入要領等欄1及び2については、29ページ(注)1参照	<p>1 出願資格Ⅱの(1)に該当する者のうち、学校教育における12年の課程を修了又は修了見込みの者は、次の書類を提出すること。 学校教育における12年の課程の修了証明書又は修了見込み証明書及び成績証明書 〔大学を修了又は修了見込みの者であっても、12年の課程(日本での高校に相当する課程)の証明書を提出すること〕</p> <p>2 出願資格Ⅱの(1)に該当する者のうち、「これらに準ずる者」に該当する者は、次の書類を提出すること。</p> <p>① 学校教育における中等教育の課程の修了証明書と成績証明書 ② 文部科学大臣の指定した教育施設の修了証明書と成績証明書</p> <p>3 出願資格Ⅱ(2)に該当する者は、次の書類を提出すること。</p> <p>① 国際バカロレア資格証書の写し ② I B最終試験の成績評価証明書</p> <p>4 出願資格Ⅱの(3)に該当する者は、次の書類を提出すること。 アビトゥア資格証書の写し 一般的大学入学資格証明書の写し</p> <p>5 出願資格Ⅱの(4)に該当する者は、次の書類を提出すること。 バカロレア資格証書の写し及びバカロレア資格試験成績証明書</p>		
日本留学試験「成績通知書」等	日本留学試験の「成績通知書」写しまたは「成績確認書」を提出すること。		
在留資格を有する、又は有する見込みがあることを証明できる書類	〔地域デザイン科学部〕各学科及び〔工学部〕基盤工学科へ出願する者は、次のいずれか1つを提出すること。 ①在留カードの写し(表裏両面) ②住民票の写し ※在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの		
TOEFL (「iBT」, 「iBT Home Edition」) 公式スコアレポート「Official Score Report」	<p>〔地域デザイン科学部〕各学科, 〔共同教育学部〕国語分野, 英語分野, 数学分野, 技術分野, 〔工学部〕基盤工学科及び〔農学部〕生物資源科学科, 応用生命化学科, 農業環境工学科, 森林科学科へ出願する者は、次の書類を申請すること。</p> <p>TOEFL (「iBT」, 「iBT Home Edition」) 公式スコアレポート「Official Score Report」: 検定試験運営機関である米国ETSから本学あて直接送付される公式スコアレポート「Official Score Report」のみ出願書類として有効とする。ただしTest Dateスコアのみ有効とし、My Best™スコアは受け付けない。 入試の実施日から過去2年以内に実施されたTOEFLの公式スコアレポート「Official Score Report」が出願期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から米国ETSに申請すること。申請から本学到着まで約2か月程度を要するので早めに申請すること。 宇都宮大学の団体コードは 7976 なお、出願時確認用として受験者用控えスコア「Test Taker (若しくは Examinee) Score Report」写しを本学あて出願書類に同封すること。 出願期間最終日までに米国ETSからの「Official Score Report」が本学に未着の場合は出願を受け付けない。 また、いずれの書類も志願者あてに返却しない。</p>		

出願書類等	記入要領等
<p>① TOEIC (公開テスト) 公式認定証 「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」*</p> <p>② TOEFL (「iBT」, 「iBT Home Edition」) 公式スコアレポート 「Official Score Report」</p> <p>③ IELTS (「アカデック・モジュール」 「ジェネラル・トレーニング・モジュール」) 公式成績証明書 「Test Report Form」</p> <p>④ GTEC (CBTタイプ) 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」</p> <p>⑤ TEAP(4技能) 「成績表」</p> <p>のいずれか1点 29ページ(※)4参照</p>	<p>〔国際学部〕国際学科へ出願する者は、次の①～⑤のいずれか1つを提出若しくは申請すること。</p> <p>① TOEIC (公開テスト) 公式認定証 「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」: 入試の実施日から過去3年以内に実施された TOEIC の公式認定証「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」原本を出願書類として提出すること。受験票送付時に原本を返却する。その際に書類を折りたたむことがある。</p> <p>② TOEFL (「iBT」, 「iBT Home Edition」) 公式スコアレポート「Official Score Report」: 検定試験運営機関である米国ETSから本学あて直接送付される公式スコアレポート「Official Score Report」のみ出願書類として有効とする。ただし Test Date スコアのみ有効とし、My Best™ スコアは受け付けない。 入試の実施日から過去2年以内に実施された TOEFL の公式スコアレポート「Official Score Report」が出願期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から米国ETSに申請すること。申請から本学到着まで約2か月程度を要するので早めに申請すること。 宇都宮大学の団体コードは 7976 なお、出願時確認用として受験者用控えスコア「Test Taker (若しくは Examinee) Score Report」写しを本学あて出願書類に同封すること。 出願期間最終日までに米国ETSからの「Official Score Report」が本学に未着の場合は出願を受け付けない。 また、いずれの書類も受験者あてに返却しない。</p> <p>③ IELTS (「アカデック・モジュール」「ジェネラル・トレーニング・モジュール」) 公式成績証明書「Test Report Form」: 検定試験運営機関である英語検定協会(日本以外で受験した場合は当該地域の事務局)から本学あて直接送付される公式成績証明書「Test Report Form」のみ出願書類として有効とする。 入試の実施日から過去3年以内に実施された IELTS の公式成績証明書「Test Report Form」が出願期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から試験運営機関に申請すること。海外で受験した場合は、本学到着までに時間を要するので、特に早めに申請すること。 なお、出願時確認用として受験者用控え「Test Report Form」写しを本学あて出願書類に同封すること。 受験者から「Test Report Form」の原本が直接提出されても出願書類として受け付けない。 出願期間最終日までに試験運営機関からの「Test Report Form」が本学に未着の場合は出願を受け付けない。 また、いずれの書類も受験者あてに返却しない。</p> <p>④ GTEC (CBTタイプ)「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」: 入試の実施日から過去2年以内に実施された GTEC (CBTタイプ) の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」写しを出願書類として提出すること。</p> <p>⑤ TEAP (4技能)「成績表」: 入試の実施日から過去2年以内に実施された TEAP (4技能) の「成績表」写しを出願書類として提出すること。</p>
小論文	国際学部へ出願する者は、小論文を1部提出すること。 詳細は今後ホームページにて通知する。
〈ピアノ〉楽譜	共同教育学部音楽分野へ出願する者は、次の書類を1部提出すること。 実技検査のピアノで演奏する曲の楽譜に、本学様式「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」を添付したもの。 なお、楽譜はコピー可とし、印刷サイズ及び綴じ方等は任意とする。
入学検定料	<p>17,000円 必ず本学所定の銀行振込用紙を用い、振込依頼人の名義欄は、受験者本人の名前を記入し、日本国内の金融機関から本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座に振り込むこと。ただし、ATMでの振込は行わないこと。 なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り、「振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付すること。 また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、29ページ「入学検定料免除について」を参照し、入学検定料免除申請書(別添書類)を提出すること。その場合は、入学検定料は納付せずに、氏名とフリガナのみ記入し、「免除申請」を○で囲んだ「振込受付証明書貼付台紙」を提出すること。</p>
受験票送付用封筒	本要項に綴じ込まれている封筒を用い日本国内の受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、 344円分 の切手(速達)を貼付すること。志願者本人が日本国外在住の場合は、志願票において指定した代理人宛に送付するので、代理人の郵便番号、住所を記入し、代理人の氏名の後に続けて「様方」と記入し、さらに続けて志願者本人の氏名を記入すること。
合格通知書等送付用住所ラベル	合格通知書の送付先は日本国内のみとする。日本国内における受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記入すること。アパート名、マンション名、棟、〇〇様方などを省略せずに記入すること。志願者本人が日本国外在住の場合は、志願票において指定した代理人宛に送付するので、代理人の郵便番号、住所を記入し、代理人の氏名の後に続けて「様方」と記入し、さらに続けて志願者本人の氏名を記入すること。

- (注) 1 提出する証明書・文書等は原本又は「公証書」とし、写しは不可とします。また、日本語以外の言語で記載されている証明書・文書等には、訳文の提出を求める場合があります。
- 2 TOEFLでは「Official Score Report」と「Test Taker(若しくはExaminee) Score Report」写し、IELTSでは試験運営機関から本学に送付された「Test Report Form」と受験者用控え「Test Report Form」写しで、内容が相違する場合には、出願を受け付けません。
- 3 入学検定料については、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。
- 4 受理した書類等は、いかなる理由があっても返還しません。(＊印の書類を除く)
- 5 受理した書類等の記載内容は変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先及び電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- 6 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

(4) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成23年3月以降に災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

(ア) 全壊

(イ) 大規模半壊

(ウ) 半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

(ア) 警戒区域

(イ) 計画的避難区域

(ウ) 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①ア㊦並びに㊧に該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめアドミッションセンター事務室まで問い合わせてください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付についてアドミッションセンター事務室から電話にて連絡します。

(5) 出願先

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室
--

(6) 受験票の送付

受験票は、出願期間終了後、出願者全員に送付しますので、下記日程までに受験票が到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

国際学部・共同教育学部・農学部：令和5年11月24日(金)

地域デザイン科学部・工学部：令和6年1月18日(木)

7 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期にアドミッションセンター事務室との相談を開始してください。

また、事前相談の期間後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限

国際学部・共同教育学部・農学部：令和5年9月27日(水)

地域デザイン科学部・工学部：令和5年11月22日(水)

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載 <http://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php>）に次の内容を記載し、医師の診断書（写でも可とします。）を添えてアドミッションセンター事務室へ提出してください。

- ① 氏名，住所，連絡先電話番号，連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類（私費外国人留学生選抜），学部・学科等
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

8 選抜の方法及び検査科目・日程等

(1) 選抜の方法

入学者の選抜は、出願書類の他、日本留学試験の成績、本学の学力検査等の結果を総合して決定します。

(2) 検査科目等

学部	学科・分野等	検査等の内容			
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	小論文	論述形式（日本語）によって、総合的な理解力、思考力、表現力を問う。		
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～15分程度実施する。コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問う。		
	建築都市デザイン学科	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。建築・都市デザインに対する関心度や意欲、希望進路、論理的思考力等を問う。		
	社会基盤デザイン学科	数学	日本の高等学校の科目「数学Ⅰ（データの分析を除く）・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）」		
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。地域における社会基盤デザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、進路希望を問う。		
国際学部	国際学科	小論文（事前提出）	日本語又は英語の小論文を課す。詳細は今後ホームページにて通知する。 〈具体的な方法〉 小論文は、日本語800字、英語の場合は600語程度の分量である。 〈評価の観点〉 与えられた課題に関連した資料を収集し、読み解き、問題点を把握する能力、自分の知識を生かして独自の考えをまとめる能力、論理的に考え、文章を構成する能力、日本語（又は英語）の表現・表記の能力を評価する。		
		オンラインによる口頭試問及び面接	オンラインで20分程度の口頭試問及び面接を実施する。オンライン試験の詳細は今後ホームページにて通知する。 〈具体的な方法〉 口頭試問は事前に提出された小論文に基づいて行う。面接は複数の面接員により、個人面接を日本語で行う。 志望の動機、関心のある領域・問題、将来の計画などを尋ねる。 〈評価の観点〉 限られた時間の中で自分の考えをまとめ、論理的に説明する能力とともに、質問を正確に理解し、的確に回答する能力を評価する。		
共同教育学部	学校教育教員養成課程	教育人間科学系	教育分野	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
			教育心理分野	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
			特別支援教育分野	小論文	出願した分野の専門に関する総合的な理解力、思考力、表現力をみるための論述形式の課題を課する。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
		人文社会系	国語分野	小論文	出願した分野の専門に関する総合的な理解力、思考力、表現力をみるための論述形式の課題を課する。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
			社会分野	小論文	出願した分野の専門に関する総合的な理解力、思考力、表現力をみるための論述形式の課題を課する。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
		英語分野	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。	
自然科学系	数学分野	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。		
	理科分野	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。		
	技術分野	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。		

学部	学科・分野等		検査等の内容	
共同教育学部	学校教育教員養成課程	音楽分野	実技	34ページの表「共同教育学部実技検査の内容」による。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
		美術分野	実技	34ページの表「共同教育学部実技検査の内容」による。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
		保健体育分野	実技	34ページの表「共同教育学部実技検査の内容」による。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
		家政分野	小論文	出願した分野の専門に関する総合的な理解力、思考力、表現力をみるための論述形式の課題を課する。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。出願した分野で学ぶのに必要な基礎的な適性、学修意欲等をみるための口頭試問をする。
工学部	基盤工学科	数学	日本の高等学校の科目「数学Ⅰ（データの分析を除く）・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）」	
		理科	選択科目「物理」又は「化学」のいずれか1科目を選択する。出題範囲は、日本の高等学校の科目「物理基礎・物理」及び「化学基礎・化学」	
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分程度で実施する。本学科で学ぶために必要な日本語能力、学修意欲、適性などをみる。	
農学部	生物資源科学科	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。志望動機、日本の大学や社会・習慣などに関する試問によって、受験者の資質と勉学意欲を評価する。	
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。志望動機や生命・食品・環境などに関する試問によって、受験者の資質と勉学意欲を評価する。	
	農業環境工学科	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。志望動機や農業環境工学及び関連事項に関する試問によって受験者の資質と学修意欲を評価する。	
		小論文	社会科学に関する基礎的な思考力及び表現力を評価する（日本語で解答）。	
	農業経済学科	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。志望動機や社会問題などに関する試問によって、農業経済学に対する問題意識、勉学意欲などを広く評価する。	
		小論文	森林及び林業・林産業について学ぼうとする熱意、論理的思考能力、記述表現能力を評価する。	
森林科学科	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。志望の動機と目的、将来の抱負、自己表現力などを評価する。		

(3) 検査日及び検査場等

学部	検査日	集合時刻	検査場	集合場所
国際学部	令和5年 11月30日(木)	オンラインで実施します。詳細はホームページでお知らせいたします。		
共同教育学部		8時30分	宇都宮大学 峰キャンパス検査場 (宇都宮市峰町350)	峰キャンパス8号館A棟玄関ホール
農学部				峰キャンパス1号館A棟玄関ホール

学部	学 科	検査日	集合時刻	検査場	集合場所
地域 デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科	令和6年 2月25日(日)	8時30分	②宇都宮大学 峰キャンパス 検査場 (宇都宮市峰町350)	②峰キャンパス 4号館B棟 玄関ホール
	建築都市デザイン学科		8時30分		
	社会基盤デザイン学科		11時30分		
工学部	基盤工学科		8時30分		

(注) 検査場及び集合場所を変更する場合は、受験票送付時にお知らせします。

(4) 検査スケジュール

① 令和5年11月30日(木)

学部	学科・分野等	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
国際学部	国際学						オンライン入試			
	教育学	教育学			面接					
		教育人間系			面接					
	教育学	特別支援教育分野			面接					
		国語分野			面接					
		社会分野			面接					
		英語分野			面接					
		数学分野			面接					
	共同教育学	理学分野			面接					
		技術分野			面接					
		音楽分野			実技	面接				
	養成課程	芸術・生活・健康系	美術分野		実技	面接				
			保健体育分野		実技	面接				
家政分野			小論文	面接						
農学部	生物資源学科								面接	
	応用生命科学								面接	
	農業環境学								面接	
	農業経済学								小論文	面接
	森林科学								小論文	面接

② 令和6年2月25日(日)

学部	学科	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
地域デザイン学部	コミュニケーション学科									
	建築都市デザイン学科									
	社会基盤デザイン学科									
工学部	基盤工学									
	基盤工学									

共同教育学部実技検査の内容

分野	内容
音楽分野	<p>次の1, 2の内容を課します。</p> <p>1 声楽 次の(1)・(2)の日本歌曲から任意の1曲を選択し、歌詞の1番を暗譜で演奏してください。(伴奏者は本学で用意します。)</p> <p>(1) 林古溪 作詞, 成田為三 作曲《浜辺の歌》(へ長調) (2) 江間章子 作詞, 中田喜直 作曲《夏の思い出》(ニ長調)</p> <p>2 ピアノ ピアノ独奏による自由曲(3分以上の楽曲)1曲を暗譜で演奏してください。(反復は省略。)</p> <p>(注) ピアノで演奏する曲の楽譜(コピー可)に本学様式「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」を添付し、出願時に提出してください。(ただし、提出された楽譜は返却しません。)</p>
美術分野	鉛筆素描(実技検査に使用する画材類は、全て本学で用意します。)
保健体育分野	<p>基礎的運動能力(走力, 跳力, 投力等)に関して評価します。</p> <p>(注) 運動に適した服装, 屋外用と屋内用のシューズを各自持参してください。</p>

9 受験上の注意事項

(1) 検査当日の注意事項

- ① 検査当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 検査当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに集合してください。これに遅れる場合は、検査開始後30分までは受験を許可します。ただし、検査時間の延長は認めません。
- ③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのものに限ります)、眼鏡、ハンカチ及びティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップだけです。
- ④ 下敷き、座布団については、監督者の許可を得たものだけに限り使用することができます。
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等は必ず電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない可能性があります。検査場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。
- ⑦ 検査当日は、自動車及びバイクによる検査場内への乗り入れを禁止します。

(2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- | |
|--|
| <p>ア 志願票、受験票へ故意に虚偽の記入(受験票・写真票に本人以外の写真を貼るなど)をすること、解答用紙へ故意に虚偽の記入(解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど)をすること</p> <p>イ カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること</p> <p>ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること</p> <p>エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと</p> <p>オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと</p> |
|--|

- カ 監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること
- キ 試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
 - ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）
- ケ 監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- コ その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
 - ※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

10 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次のURLをご覧ください。
<http://www.nyushikakomon.jp/>

11 合格者発表

(1) 発表日時

国際学部・共同教育学部・農学部	令和5年12月7日(木) 16時
地域デザイン科学部・工学部	令和6年3月6日(水) 14時

(2) 通知

合格者には「合格通知書」を郵送します。

(3) ホームページでの掲載

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

(注) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

12 入学手続

(1) 手続期間

国際学部・共同教育学部・農学部	令和5年12月19日(火)～20日(水) [ただし、20日は17時までには必着とします。]
地域デザイン科学部・工学部	令和6年3月13日(水)～15日(金)

※手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 入学手続方法

入学手続に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

(3) 入学手続時に必要な納付金等

ア 入学料 282,000円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料(4年間分) [令和5年4月現在]
4,660円

ウ TOEIC IP テスト受験料(5回分) 12,900円 [令和5年4月現在]

エ 洋書多読システム等(1年間分) 6,820円

(4) 入学後に必要な諸経費

ア 授業料 535,800円(年額)

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 授業料は、半期分(267,900円)をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落としによる口座振替の方法で納付することになります。(前期分授業料口座振替日は5月下旬)

イ 教科書代 自己負担となります。

ウ 実験・実習費 自己負担になることがあります。

(5) マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

13 その他

- (1) 私費外国人留学生選抜に関して不明な点は、次に照会してください。

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室 TEL 028 (649) 5112
--

- (2) 受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

14 令和5年度私費外国人留学生選抜入学者選抜状況

学部名	学 科 ・ 分 野 等 名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
地域 デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科	若干名	0	0	0	0	
	建築都市デザイン学科	若干名	1	1	0	0	
	社会基盤デザイン学科	若干名	0	0	0	0	
	計		1	1	0	0	
国際学部	国 際 学 科	5 名	3	3	3	2	
	計		3	3	3	2	
共同 教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	教 人 育 科 学 間 系	教育分野	若干名	0	0	0
			教育心理	若干名	0	0	0
			特別支援教育分野	若干名	1	1	0
	人 科 文 学 学 系	国 語 分 野	若干名	0	0	0	0
		社 会 分 野	若干名	0	0	0	0
		英 語 分 野	若干名	0	0	0	0
	自 科 然 学 学 系	数 学 分 野	若干名	0	0	0	0
		理 科 分 野	若干名	0	0	0	0
		技 術 分 野	若干名	0	0	0	0
		音 楽 分 野	若干名	0	0	0	0
	芸 術 ・ 活 動 生 活 ・ 健 康 系	美 術 分 野	若干名	0	0	0	0
		保 健 体 育 分 野	若干名	0	0	0	0
		家 政 分 野	若干名	0	0	0	0
計		1	1	0	0		
工学部	基 盤 工 学 科	若干名	3	2	1	1	
	計		3	2	1	1	
農学部	生 物 資 源 科 学 科	若干名	3	3	1	1	
	応 用 生 命 化 学 科	若干名	1	1	1	1	
	農 業 環 境 工 学 科	若干名	1	1	1	1	
	農 業 経 済 学 科	若干名	0	0	0	0	
	森 林 科 学 科	若干名	0	0	0	0	
	計		5	5	3	3	
合 計			13	12	7	6	

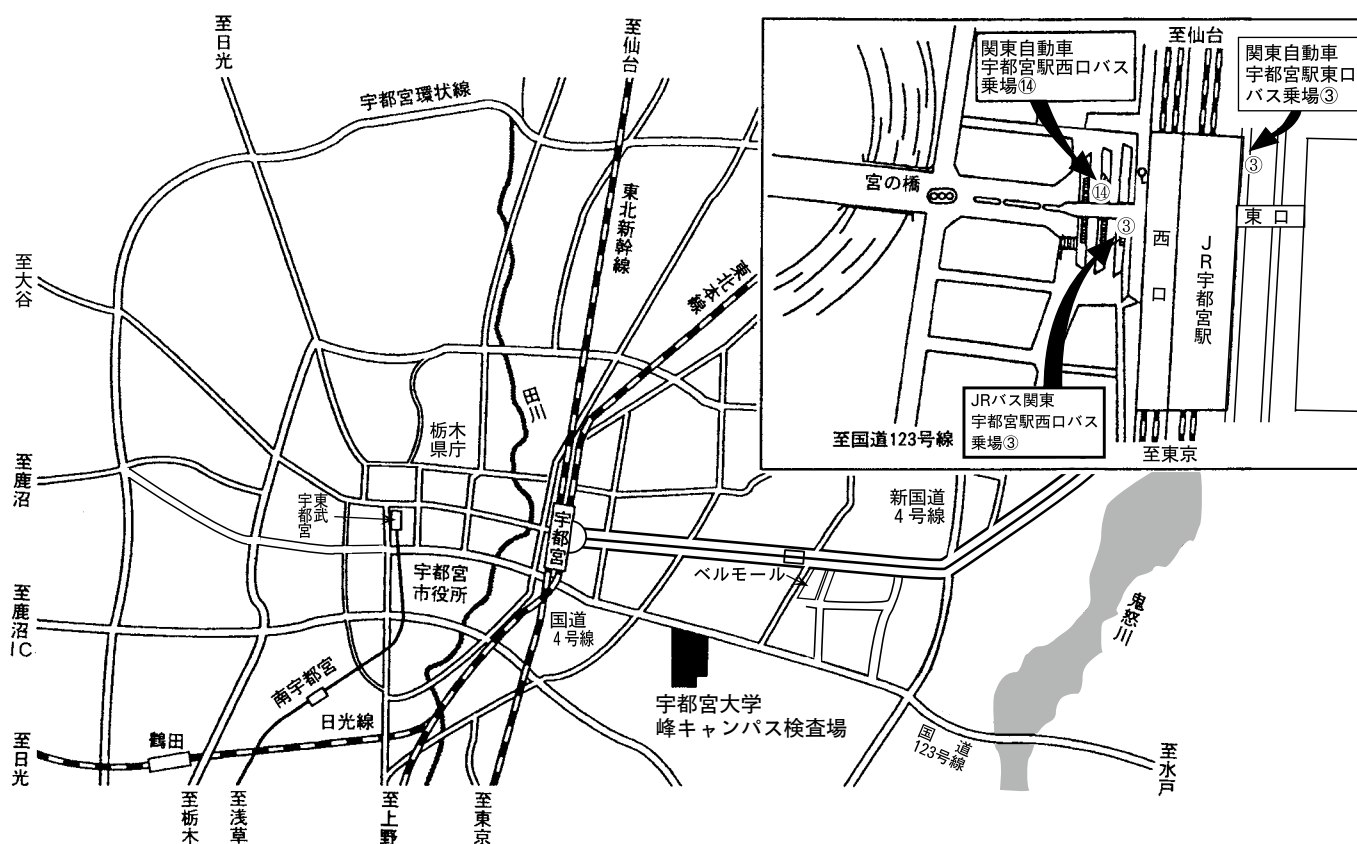
15 検査場案内図

・東京都内から本学最寄り駅までの所要時間

- 東京駅からJR宇都宮駅 東北新幹線利用 約1時間
上野東京ライン・宇都宮線利用 約2時間
- 新宿駅からJR宇都宮駅 湘南新宿ライン・東北新幹線利用（大宮駅乗換） 約1時間15分
湘南新宿ライン・宇都宮線利用 約1時間50分
- 浅草駅から東武宇都宮駅 東武スカイツリーライン・東武日光線，東武宇都宮線利用
（曳舟，南栗橋，新栃木駅など乗換） 約2時間30分
- 羽田空港から 東京空港交通・関東自動車バス利用 約3時間

・仙台から本学最寄り駅までの所要時間

- 仙台駅からJR宇都宮駅 東北新幹線利用 約1時間20分



・JR宇都宮駅及び東武宇都宮駅からのアクセス

◎宇都宮大学峰キャンパス検査場（JR宇都宮駅から約2.2km）

- 関東自動車（真岡，益子，星の杜中学校・高等学校，ベルモール行など）
 - …JR宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約10分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分
 - …東武宇都宮駅バス乗場から乗車約20分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分
- 関東自動車（卸団地循環，ベルモール，星の杜中学校・高等学校行）
 - …JR宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分

〔参考〕

関東自動車(株)本社路線バス部 TEL 0570-031811



宇都宮大学

受験生応援サイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

又は右図QRコードでご確認ください。



QRコード



宇 都 宮 大 学
アドミッションセンター事務室

〒 321-8505 宇都宮市峰町350

TEL 0 2 8 (6 4 9) 5 1 1 2